

2023年度 連続テレビ小説「らんまん」主人公のモデル  
**TOMITARO MAKINO**

高知県出身の植物分類学者  
**牧野富太郎**

日本が世界に誇る植物分類学の第一人者。一生涯を通して植物分類学の研究に打ち込み、新種や新品種など約1,500種類の植物を命名。  
 また日本全国で採集調査を行い、生涯において収集した植物標本は40万枚、蔵書は45,000冊を数える。植物知識の教育普及活動にも全国規模で尽力し、植物研究者、愛好家などの育成に努めた。



**牧野富太郎略年譜**

- 1862年 4月24日 高知県高岡郡佐川町で酒造を営む裕福な商家の一人息子として生まれる。(幼名：成太郎)
- 1868年 父、母、祖父が相次いで亡くなり、祖母に育てられる。(この頃、富太郎と改名)
- 1876年 佐川の名教館で高度な教育を受け、後に入学した小学校の授業に飽き足らず、2年で自主退学。
- 1884年 東京大学理学部植物学教室を訪ね、研究室への出入りを許され研究に没頭する。
- 1887年 『植物学雑誌』の創刊に携わる。
- 1888年 響衝(すえ)と東京根岸に所帯を持つこの頃、石版印刷技術を習得し、『日本植物志図鑑』を自費出版。
- 1889年 大久保三郎と日本で初めて新種と認識して、国内学術誌にヤマトグサを発表、横倉山でコロロギラン採集。
- 1953年 東京都名誉市民となる。
- 1956年 佐川町名誉町民となる。
- 1957年 1月18日 94歳で永眠。東京都谷中の天王寺墓地に埋葬。没後、文化勲章を授与される。

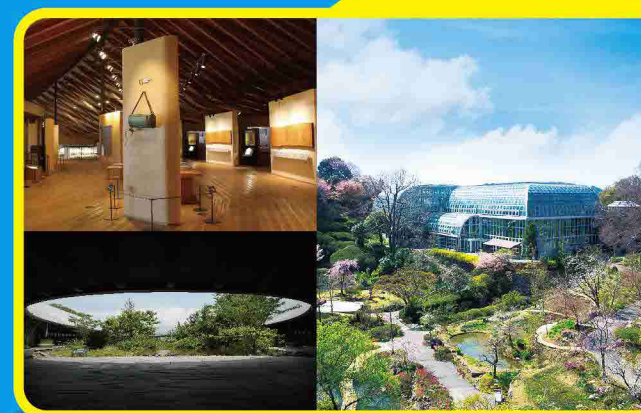
**エピソード**

**草木の精かも知れん**  
 自叙伝において「私は植物の愛人としてこの世に生まれ来たように感じます。あるいは草木の精かも知れんと自分で自分を疑います。」と述べていた牧野博士。植物採集へ出かける際には必ず、シャツに襟ネクター、意人でもある植物に会うのだからと、植物への愛と尊敬の気持ちを服装に表していたようです。

**好物** (ワタシ)  
**トマト** 牛肉のすきやきが大好き  
**すき焼き** コーヒーはブレンドするほどのこだわり  
**ゆかりの植物**



2023年度 連続テレビ小説「らんまん」主人公のモデル  
**牧野博 富太郎の地**



**高知県立 牧野植物園 (高知市五台山)**

「日本の植物分類学の父」牧野富太郎博士(1862-1957)の業績を顕彰するため、牧野博士逝去の翌年1958年4月に高知市の五台山に開園。  
 「植物園を造るなら五台山がええ」と牧野博士が生前に候補地として提案した場所へ建設された。園内では、四季折々3000種類以上の草花をはじめ、温室の熱帯花木や、土佐農産センターではカンランならびに日本伝統園芸植物など多種多様な植物に出会える。牧野富太郎記念館 展示館では、牧野博士が採集した植物標本や採集した風景、写真などから、その生涯や業績を知ることができる。

☎088-822-2601(高知県立牧野植物園) アクセス/MY道バス「牧野植物園正門前」下車すぐ

**佐川町**

牧野博士の生まれ故郷。町の中心部にある「牧野公園」では、1月〜2月頃に牧野博士が幼少期から楽しみ、晩年は故障を思い起こさせた植物「バカオウレン」を見ることが出来る。また、桜を愛した牧野博士は、当時高知になかった「染井吉野」の苗木を東京から佐川町に贈った。戦争によって一度は失われたが、地元の方の尽力で桜を復活させ、現在では日本標本所100種として愛されている。牧野博士ゆかりの植物も約400種類植えられており、牧野博士の分骨もおこなわれた。

☎0889-20-9500(さかわ観光協会) アクセス/JR佐川(佐川)下車・徒歩約8分

**安芸市(伊尾木洞)**

湧の湯倉によりできた源泉で、高さ5mもある崖壁には貝の化石が見られる。周辺では約50種ものシダ植物も、牧野博士もこの地を訪れ、シダ植物を採集していた。

☎0897-35-1122 (安芸市観光協会) アクセス/佐川(佐川)下車・徒歩約7分

**仁淀川町**

「仁淀ブルー」で有名な仁淀川の上流部に、ヤマトグサ発見の地である野川を有している。ここは、牧野博士が遠征となく遠く多くの新種を発見した場所。四国カストの東端に位置する東流山ではクマカスガが、馬形山ではトリガタハンショウヅルが、牧野博士によって新種として発表された。若き牧野博士を育んだ、まさに植物の宝庫といえる場所。

☎0899-35-1333 (仁淀川町観光協会) アクセス/中津浦谷へのアクセス/伊野町から車で約1時間

**越知町(横倉山周辺)**

アカガシの原生林や多くの希少植物が残り、植物の宝庫・横倉山。開拓する佐川出身だった若き日の牧野博士もこの山に登り、発見された。コナギランを発見してロシアのマキシモヴィチ博士が学名を、牧野博士が和名を命名したことは有名な話。横倉山の横には、牧野博士が新種記載のためのタイプ標本を採取したコゴロギが今も残っている。

☎0889-26-1060(横倉山自然の森博物館) アクセス/東横倉山バス(家の前)下車・徒歩約10分

自然環境の保全のため、貴重な植物の採集はしないようお願いします。高知県の豊かな自然がいままで続くよう、大切な植物を守っていきましょう。

**どっぷり高知旅** **どっぷり高知旅キャンペーン** **どっぷり高知旅**  
 SUPER LOCAL KOCHI 令和6年4月1日[月]—令和10年3月31日[金]  
 どっぷり高知旅キャンペーン推進委員会/Tel.088-823-9606 <https://doppuri.kochi-tabi.jp>  
 本リーフレットの記事及び画像の無断複製・転載はご遠慮願います。©どっぷり高知旅キャンペーン推進委員会

高知県

やなせたかし・暢夫妻の  
**高知めぐりまわす**

「らんまん(2023)」に続き  
**高知が再び**  
 連続テレビ小説の舞台に!

2025年度(前期)  
 連続テレビ小説  
**「あんぱん」**  
 やなせ夫妻をモデルに描かれる物語

YANASE TAKASHI&NOBU FURUSATO KOCHI AROUND MAP



2025年度 連続テレビ小説「あんぱん」主人公の夫のモデル  
**TAKASHI YANASE**

アンパンマンの生みの親  
**やなせたかし**

漫画家、詩人、デザイナー、絵本作家など多数の顔を持つマルチクリエイター。子どものころから漫画や小説、イラストなどに心惹かれ、自身もその道を目指す。多彩に活躍しながらも代表作が生まれないことに悩んでいたが、54歳で発表した絵本『あんぱんまん』が人気となり、その後アニメ化もされ自身の代表作となった。生涯現役で、94歳で亡くなるまで作品を生みだし続けた。



**やなせたかし略年譜**

- 1919年 父・柳瀬清、母・登喜子の長男として生まれる。(本名：柳瀬 嵩)
- 1924年 父が単身赴任していた中国で客死。自身は高知市内で母と母方の祖母と暮らす。第1号は徳島市で開業医をする伯父・寛の養子となり、離れて暮らす。
- 1926年 母の再婚により、自身も伯父の家で暮らすことになる。
- 1937年 東京高等工芸学校工芸図案科に入学。
- 1941年 召集され、小倉の部隊に入隊。
- 1946年 復員。帰郷し、第1号の戦死を知る。同年、高知新聞社に入社。記者を経て、『月刊高知』編集室に配属。
- 1947年 高知新聞社を退職し、上京。三越百貨店に入社。包装紙「華ひらく」(デザイン・権龍弦一朗)の制作に携わり、レタリングも手掛けた。
- 1953年 三越百貨店を退職。漫画家として独立するが、漫画以外のさまざまな仕事も手掛ける。
- 1961年 「手のひらを太陽に」を作曲(作曲・いずみたく)。
- 1973年 雑誌「手とメルヘン」(サンリオ)が創刊され、編集長をつとめる。同年、月刊保育絵本「キンダーおはなしえほん」(フレーベル館)に「あんぱんまん」掲載。
- 1996年 「やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム」開館。
- 2011年 高知県名誉県民顕彰を受ける。
- 2013年 94歳で永眠。高知県香美市の「やなせたかし朴ノ木公園」に妻・暢とともに眠る。

**エピソード**

**人生はよろこばせごっこ**  
 「多くの人を喜ばせたい。うれしそうに笑い声を聞くと大好きです。」「(人生なんて夢だけど)より」と書いたやなせ先生。自身のその思いを実行するため、大規模なパーティーを企画し、ステージ演出などもすべて自身で手掛けました。笑顔になれるやなせ先生のパーティーは、参加希望者が続出したそうです。

**こだわり**  
 おしゃれにはこだわりのあったやなせ先生。どんな場面でも「ダン録」ファッションに身を包み、おしゃれでも周りの人を楽しませていました。



# やなせ先生のかりのスポンジ

**MAP A** **香美市立 やなせたかし記念館 アンパンマンミュージアム**

代表作アンパンマンの世界をテーマにした、やなせたかし記念館の本館、やなせ先生がこのミュージアムのために描き下ろしたタブロー画や、原作絵本の原画などここでしか見られない貴重な作品を展示。

香美市立やなせたかし記念館 アンパンマンミュージアム & 詩とメルヘン絵本館  
電話087-59-2300  
住所:香美市香北町 富良野122-4  
休館日:毎週火曜日

**MAP A** **やなせたかし記念公園**

詩とメルヘン絵本館の南側にある柚子の木に囲まれた公園。やなせうさぎの銅像を取り囲むように、アンパンマンと仲間たちの石像がぐるりと並んでいる。

**MAP C** **やなせうさぎ**

やなせ先生が自画像かわりに描いた分身キャラクター

**MAP B** **ほおのき やなせたかし朴ノ木公園 記念館から車で5分**

香美市香北町朴ノ木(ほおのき)の柳瀬家跡地にある「やなせたかし朴ノ木公園」は、やなせ先生と妻・暢さんが眠る墓地公園。中心には詩が刻まれた墓碑があり、両側にはアンパンマンといきまんまの石像がアンパンマンミュージアムの方を向いて見守るように建っている。

**MAP C** **やなせたかし・ごめん駅前公園**

やなせ先生が、小学2年生から約10年間を過ごした南国市の旧柳瀬医院跡地は、現在芝生の広がる公園に、案内板には弟との思い出を綴った「道徳山のタヤケ」が紹介されている。

**MAP C** **ごめん 生姜地蔵**

後免町駅に立つやなせ先生デザインのお地蔵さん。傷を治す「とけぬき地蔵」ならぬ、ごめんの一言で心のけがをぬいてくれるごめん生姜地蔵。後免町駅の愛称「ありがとう駅」はやなせ先生の提案で、多くの人々に親しまれている。

# やなせ先生のかりのスポンジ

KOCHI AROUND MAP

**MAP 1** **中村・宿毛線「だるま夕日号」**

中村・宿毛線のイメージキャラクター「サニーくん、サンコちゃん」と宿毛湾の「だるま夕日号」をあしらった「だるま夕日号」が走っている。

☎0880-35-4961  
(土佐くろしお鉄道株式会社 中村駅)

**MAP 2** **海洋堂ホビー館 四万十**

海洋堂のフィギュアなど約8,000点を展示。ワークショップや企画展も随時開催。四万十トッピーちゃんのモニュメントにも出会う。

☎0880-29-3355  
住所:四万十町打井川1458-1  
定休日:火曜(祝日の場合は翌日)

**MAP 3** **高知まんがBASE**

「まんが王国・土佐」の情報発信拠点。やなせ先生をはじめとする「まんが王国・土佐」に縁のある漫画家による寄せ書きやサインの数々も展示。

☎088-855-5390  
住所:高知市丸の内1-1-10高知県立公文書館内  
定休日:大・水・金 年末年始(開館休業日あり)

**MAP 4** **高知駅(アンパンマン列車ひろば)**

5つのアンパンマン列車が走るメインオブジェや、記念撮影ができるコーナーもある。駅の大階段にはアンパンマンとばいきんまんが!(見学には乗車券や入場券が必要)

**MAP 5** **とさでん交通路面電車**

数ある路面電車のなかに、やなせ先生が電車のために描きおろしたデザインと、ミュージアムの収蔵庫と同日デザインの車両が運行。(アンパンマンミュージアムPR電車)

☎088-833-7121  
(とさでん交通株式会社)

**MAP 6** **香美市いんふおめーしょん**

アンパンマンの看板が目印の香美市観光案内所。館内にあるやなせ先生直筆サインや、アンパンマンのからくり時計はお子さんに大人気。

☎0887-52-9880  
住所:香美市土佐山田町東本町1-5-1  
定休日:年中無休

**MAP 7** **高知県立のいち動物公園**

動物たちの野生での生活環境を可能な限り再現した展示が特徴の動物公園。カワウソとレッサーパンダがモデルとなった動物公園オリジナルキャラクターに出来る。イベント時に着ぐるみが登場。

☎0887-56-3500  
住所:香南市野市町大谷738  
定休日:月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/1)

**MAP 8** **ごめん・なはり線**

後免駅から奈半利駅まで限定的に土佐くろしお鉄道「ごめん・なはり線」は、各駅に個性豊かなキャラクターがけやなせ先生作詩の歌が車両名の「てのひらを太陽に号」も運行。

☎0887-34-8800  
(土佐くろしお鉄道株式会社 安芸駅)

**MAP 9** **あかおか駅**

あかおか駅の高架下の広場では、ごめん・なはり線の全駅キャラクターや町のキャラクターが勢ぞろい。ミニチュア模型も設置されている。

☎0887-37-9306  
(高知県土木部安芸土木事務所 住所:安芸市川北)

**MAP 10** **安芸広域公園(ナス公園)**

安芸市の特産品ナスをモチーフにした遊具が特徴的な安芸広域公園。公園内には、ごめん・なはり線のキャラクターがあちこちに。

# やなせ先生のかりのスポンジ

**高知県防災キャラクター**

南海トラフ地震によって甚大な被害を受けてきた高知県で、子供たちに防災に興味を持ってもらうために誕生。

**高知県歯の健康キャラクター**

歯みがき星のハハハ大臣が歯の健康を伝えるため「ハハハ3きょうだい」を高知に派遣。

**高知の野菜 11人きょうだい**

高知県産の野菜を全国にPRするために誕生。スーパーにならぶ野菜のパッケージに登場するなど、全国で活躍中。

**土佐二十四万石博キャラクター**

2006年の高知県観光キャンペーンのキャラクター。初代土佐藩主・山内一豊と妻・千代などがモチーフ。

**南国市のキャラクター**

生姜をモチーフにした南国市のキャラクター。

**香美市 イメージキャラクター**

故郷である香美市の名所や特産品をモチーフに13体のキャラクターが誕生。観光案内に、イベントにと、大活躍。2023年に「星のキャラクター」の名称が、カミティアに決定。

©やなせたかし ©やなせスタジオ ©やなせたかし ©やなせスタジオ ©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV 出典:香美市立やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム公式ガイドブック、「やなせたかし大全(フレーベル館)」 ©高知県芸術販売拡大協議会・やなせたかし